

- ・朝4時起床。今日は襟裳岬を回ってアポイ岳の登山口まで行く予定。距離はあまり無いし時間は十分過ぎるほどある。天気はまあまあ。ただガソリンがほとんど無くどこかで入れなければならぬ。昨日入れておけばよかった。早朝のため道の駅もガソリンスタンドもまだ開いていないので走りながら開いているガソリンスタンドを探そうと6時ごろ道の駅「虫類」を出て襟裳岬に向け南下を開始する。ところがそこからが大変、海岸線に沿って絶景のドライブウェイ・黄金道路だが大きな町は全く無くガソリンスタンドが無い。道が良いのでどんどん距離を稼ぎメーターがどんどん空になってゆく。襟裳に近づくにつれて天気が良くなり真夏の太陽がさんさんと降り注ぐ。暑い!
- ・天気予報によると低気圧が接近していて明日は昼から崩れるとのこと。時計を見るとまだ8時だ。襟裳・アポイあたりは今日は天気が良さそうだ。それなら今日これからアポイに登ってしまおう。ナビを見るとアポイ岳登山口に10時前に着けそうだ。何とかなりそうだ、決断!
急遽スピードアップし80kmで走り出す。途中セイコマートで弁当を調達し、襟裳岬を回らず庶野から追分峠を越えて歌別へ抜けるショートカットを取り襟裳町にでた。
- ・襟裳町にガソリンスタンドを見つけ駆け込んだ。ガソリンは心配したほど減っていなかったので助かったが、@147円という高価なガソリンだった。



アポイ岳駐車場

- ・ナビの予告より1時間も早く、9時に登山口へ到着、天気は快晴。最高の決断をしたようだ。

- ・アポイ山荘のしたの駐車場に車を止め服を着替えて山支度を整え9:08登山開始。駐車場には車は私のほかに1台のみ。こんなに登山客がいないのか!

- ・まずトイレで出発準備。すると後ろから「もう下りてこられたのですか」と声がかかる。「いや、これからです」「じゃ、ご一緒しましょう」ということになり兵庫県三田から来たというおじさん(山門さん)と一緒に登ることになった。三田から米国製の1500CCのバイクで来ているという。松下電器を定年退職し今はパソコン店を営んでいるとか。道中パソコンや液晶の話が共通の話題となり、結構楽しい登山となった。



アポイ岳登山口



五合目の小屋



五合目小屋の屋根と太平洋を眼下に

- ・一人でもくもくと歩くより連れが居て話しながら登るほうが楽しいし疲れも感じない。五合目小屋をあっさり通過し山頂へ向かって快調に歩を進む。眼下には太平洋とその海岸線がくっきりと見渡せる。



途中でポーズをとる山門氏



眼下に見える海岸線

・なんとなくあっさりと馬の背を通過しアポイ岳の山頂に到達。



アポイ岳山頂に立つ



馬の背

・天気は最高、低い山なので周囲の眺望は無いが眼下に太平洋と美しく続く海岸線がくっきりと輝いて見えすばらしい。

・ちょうど花の端境期となったようで、北海道でも有数の花の多い山との期待を裏切り、花は 少なかった。おまけに特有種のヒダカソウは時期には遅いし、咲いているところは立ち入り禁止となっていて入れない。登山客が少ないわけだ。みな良く知っている！

・往復5時間弱の山行だったが山門さんという同行の士を得て今回の北海道の山旅の最後の山を最高の形で無事終了した。

・恵庭岳・羅臼岳を雨で中止し富良野岳は天候と時間の関係で頂上をきわめず引き返したので予定した11山のうち8山を登り、予定外で礼文岳に登ったので全部で9山登ったことになった。残した山を登りにまた来年来てみようか。



山門さんと愛車(1500ccのバイク)



アポイ岳登山口「アポイ岳ビジターセンター」

・ピカピカに磨いてある山門さんの1500CCのバイクを前に記念写真を撮り、彼と別れた。彼はこれから北海道を回るといふ。もう何回も来ているそうで、これから釧路のほうへ行くといふ。

- ・あまりにも天気良く時間も早いので(2時)今日来た道をかなり引き返すことになるが襟裳岬へ行って見る事にする。
数百年ぶりに来た襟裳岬は、道路はよく整備され箱物が建ちすっかり様相をかえてしまっていて趣が感じられなくなっていた。 ちょっとがっかり。



襟裳岬への道



襟裳岬で

- ・快晴の襟裳岬を写真に収め、もと来た道をまた引き返して北上。
結局今日3回(一往復半)も同じ道をを通過することになった。
- ・海岸線のすばらしい1235号線を北上し今日の宿泊予定地であり今回の北海道紀行の最終宿泊地である道の駅「みついし」をめざす。



襟裳岬

- ・道の駅「みついし」もなかなか良い駅で、最終地に相応しいところだ。三石海浜公園の中にあり、海水浴場や温泉が併設、周りは日高町らしく競走馬の牧場が広がっている。
380円で温泉に入れるのは最高。風呂にゆっくり入り、隣の食堂でささやかながら今回の北海道山紀行の完遂をひとりで祝った。車の中で寝るのも今夜で最後となる。感無量で熟睡。

- * 予定より一日早くアポイ岳に登ったので、明日は予定より一日早く苫小牧からの帰途につく。
「小金井の父の具合が良くない」とメールが入ってきた。一日早めてよかった。

[見られた花] 22種(名前のわかったもの 15種 + 名前不詳 7種)

- ・イブキジャコウソウ ・アポイマンテマ ・エゾコウゾリナ ・アポイハハコ ・アポイヤマブキショーマ
- ・アポイアズマギク ・ヒオウギアヤメ ・チシマフーロ ・ハクサンシャクナゲ ・タカネナデシコ
- ・キンロバイ ・サマニオトギリ ・エゾニガナ ・ツルアリドウシ ・エゾノカワラマツバ